

JRCA 2026 年度 第 6 回 理事会 議事録

2026 年 6 月 30 日（火）19:00～ Web 会議

参加者： 福永会長、中島、佐藤、石城、斉藤、
白井、渡辺、西井、津田

1.2026 年度 全日本ラリー選手権 第 4 戦「久万高原ラリー」について

- ・コース設定: 毎年ほぼ同じで単調との指摘があり、周辺環境等難しいと考えられるが新しいステージを取り入れるなどの進化をお願いしたい。
- ・広報活動: エントラントはスポンサーへのアピールも必要なので、地域への PR 活動のより一層の強化をお願いしたい。
- ・メディア対応: クレデンシャルメディアが非常に多かったが、駐車スペース不足が問題化。乗り合いなどの協力が必要。
- ・スーパースターの運用: 「スーパースターワン」「スーパースターツー」といった現場での指示に齟齬があり、混乱を招いた。「スーパースター」と「リカバリー（レッカー）」に名称を統一する通達を再確認し、運用の徹底を JAF に要請する。

2.全イベントに対して

- ・エントリー台数減少（特に JN5 クラス）への懸念
JN5 クラスのエントリーが 5 台に満たない状況について、ラリージャパンの影響、予算制約、メカニック不足、他イベントとの日程重複、カラーリング変更の遅れなどが要因として議論された。
- ・エントリー名の文字数制限: 最大 20 文字の制限が守られていないケースが多く、規則の厳格な運用か改定（例: 30 文字へ増加、またはエントリー名 15 文字＋読み仮名 30 文字）が必要。
今後、カムイなどの場で不参加選手から理由を聞き取り、匿名で意見を集約・報告。
- ・ラリーガイドの早期公開: イベント規則書の公開遅延が参加台数減少の一因と指摘。
エントリー判断に必要な最低限の情報（SS 本数、路面、サービスパークの場所等）を含む「ラリーガイド」を、約 3 ヶ月前に公開するよう JAF に働きかけることを決定。

3.公式通知の通知内容について

- ・公式通知の記載内容: 救済やペナルティに関する公式通知に事実説明がなく分かりづらいとの問題提起があった。過去の大会では事実ベースの説明があったことから、透明性確保のため「妨害を受けた」など最低限の事実情報を記載するよう要望することが決定。

テンプレートの整備も検討課題とされた。

4.その他

- ・特になし

5.次回理事会について

- 次回理事会（第7回）を7月21日または22日で日程調整する。

以上